

科目名	金融商品取引法	
担当者	河野 総史 / KAWANO, Soushi	
科目情報	法律 / 選択 / 後期 / 講義 / 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	金融商品取引法を学ぶことで、投資判断における情報開示の重要性を理解することを目的とする。
	到達目標	金融商品取引法に規定された開示制度、不公正取引の規制等を学ぶことで、新聞やニュースで報道される現代社会の出来事（村上ファンド事件やオリンパス事件）についての理解を深める。
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> (1) 講義ガイダンス (2) 金融商品取引法の全体像 (3) 有価証券の取引方法 (4) 企業内容の開示規制① (5) 企業内容の開示規制② (6) 企業内容の開示規制③ (7) 金融商品取引業者の規制 (8) 企業支配に関する開示制度 (9) 投資信託および集団投資スキーム (10) 不公正な取引の規制① (11) 不公正な取引の規制② (12) 不公正な取引の規制③ (13) 罰則と課徴金 (14) デリバティブ取引 (15) 総まとめ 	
自学自習	事前学習	特に指示があった場合以外は、予習は不要。
	事後学習	授業の復習をしっかりと行い、次回の小テストに備えること。
使用教材・参考文献	【教】 近藤・志谷・石田・釜田「基礎から学べる金融商品取引法」(弘文堂) 【参】 講義中に紹介する。六法は必ず持参すること。	
成績評価方法と基準	<ul style="list-style-type: none"> ・期末テスト80%、小テスト20%とし、全体で60%以上を合格とする。 ・小テストは3講目以降、前回の講義内容から出題する。 ・別途、任意でレポートを提出してもらい、20点を上限として加点する。 	
備考		